

令和7年度官民協働事業レビューにおける意見・評価

事業番号:8月30日(土)②

担当部局・担当課名:商工労働部地域産業振興室経営支援課

事業名	とやま中小企業人材育成力レッジ	評価結果	一部改善
-----	-----------------	------	------

事業レビューにおいて発言のあった主な意見

【委員の意見】

- ・民間実施のものも含めて様々な研修がある中で、補助事業として実施した方がすっきりするのではないか。県の委託事業として実施するのであれば、その特性や独自性を前面に出すとともに、県民に分かりやすく広報すべきではないか。
- ・受講者を増やすため、リアル(対面)だけでなくオンライン(e-ラーニング)との併用を考えてみてはどうか。
- ・研修、プログラムの内容や講師を絶えずチェックし、改善していく必要があるのではないか。
- ・これまでに利用したことのない企業や小規模企業が参加しやすいように、アプローチの仕方や研修の内容を精査して、マンネリ化を防ぐ工夫が必要。

【県民評価者の意見】

- ・小規模企業では1人が研修に行くだけで仕事が回らなくなるという厳しい状況があるため、オンライン講座の構築などで改善すべきなのではないか。

県民評価者の評価シートによる評価		県民評価者総数	20	
評価区分	行政の関与不要	役割分担見直し	抜本的改善	現行どおり・拡充
	2	1	3	10 (現行4、拡充0)
県民評価者の主なコメント	評価結果と 同じ評価	<p>【一部改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模な中小企業の受講者がなぜ少ないかを分析して研修メニューを考えてはどうか。 ・集客は委託先に頼るだけでなく、日ごろから中小企業とつながりのある金融機関などに協力してもらうことなどが必要なのではないか。 ・講座は一日単位で組まれているが、半日単位や定期的な開催なども検討してはどうか。 ・受講していない層のニーズを掘り起こすため、商工会などを通じてアンケートなどを定期的に実施してはどうか。 ・集客できない研修コースや民間など他で実施しているものとニーズが重複しているものなどは廃止すべき。 		
	上記以外	<p>【現行どおり・拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県の事業として実施すること、県というネームバリューに安心感がある。 ・必要なスキルが身についたか、また、受講したことでどのように変化したかなど、受講者のアフターフォローや企業側への効果検証などを追加すればより効果を高められると思う。 <p>【抜本的改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的に対して興味のあるセミナー内容か疑問。誰をどのように成長させたいのかが明確でないよう感じる。 ・研修会場の立地(場所)により利用しづらい事業者はいるはずなので、オンラインでの実施や出張講座を開くなど、工夫の余地があるのではないか。 ・事業の対象者が31,390社、292,389人であるのに対し、定員が約0.1%なのは少なすぎるのではないか。 <p>【行政の関与不要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座自体の効果が定量的になっていない。何をもって効果があるのか把握しづらい。 <p>【役割分担見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この研修を知らない企業の方が多いと思うので、商工会会員以外の方にもこの研修の存在を知つてもらう必要があると思う。 		

【参考】委員による評価

委員による評価		委員総数	4	
評価区分	行政の関与不要	役割分担見直し	抜本的改善	現行どおり・拡充
	0	0	2	1

事業名	とやま中小企業人材育成カレッジ	評価結果	一部改善
-----	-----------------	------	------

【事業レビュー結果を受けた県の対応】

今後の 対応方針	一部改善	事業内容見直し
	<p>○未受講者も含めたアンケート調査を実施し、ニーズに応じた研修プログラムの再構築(富山版MBA)や、オンライン講座等による受講環境の向上を検討する。</p> <p>○人材育成に関連する研修情報等を集約したポータルサイト(富山版MBA)を構築し、自社の経営課題や成長段階に応じた学びを選択しやすくするほか、広報・情報発信を強化する。</p> <p>○研修効果の把握を目的に、受講者同士が研修内容の実践による成果を共有する「フォローアップ研修」の導入を検討する。</p>	
令和8年度 当初予算 要求時 での対応	R8当初予算 (要求額)	17,199(千円)
	増減理由	※事業見直し・再構築に向け「富山版MBA開講準備事業」を別途要求(7,000千円)

当初予算編成プロセスの見える化

令和8年度 当初予算	要求額	17,199(千円)	前年度予算額	10,199(千円)
	事業の目的	中小企業の将来を支える、発想力・行動力に優れたリーダー人材の育成		
	事業内容	<p>①とやま中小企業人材育成力レッジ事業 <u>・長期コース受講者を対象に「フォローアップ研修」を実施し、受講翌年度に受講後の行動成果や状況を共有する場を設ける</u> <u>・受講者評価を踏まえて講義内容(講師)を一部変更</u></p> <p>②富山版MBA開講準備事業 <u>新時代の経営リーダー育成のための新たな研修プログラムの検討、人材育成に関連する情報を集約したポータルサイトの構築</u></p>		
	積算内訳	①10,199千円、②7,000千円		
	予算編成過程における議論など	事業レビューにおける意見を踏まえ、既存の研修内容の改善や研修の効果検証の実施、富山版MBAの令和9年度の開講に向けた準備など、見直しを実施		
	最終的な予算案	予算額	17,199(千円)	
		要求時点からの変更点	変更なし	